



## 視聴覚メディア教材の活用に向けて

保健医療学部作業療法学第二講座教授  
附属総合情報センター運営委員  
池田 望

教育現場で使用される視聴覚メディア教材の発展は著しく、初等教育から高等教育までの多くの教育現場でICTを活用した教材の導入が試みられています。これらは利用の手軽さに加えて学習者の印象に残せる、現実的な場面の提示ができる、双方向のやりとりができる、などの点で大きなメリットがあります。本学の附属総合情報センターもオンラインでの学習が可能なヒト3D解剖図譜や各種のe-ラーニング教材が用意されていますし、文献検索機能や電子ジャーナルも整備されています。

医療人の養成教育は、人体の正確な理解や専門的な臨床能力が求められるという点で、視聴覚メディア教材が活用される領域です。様々な活用場面があると思いますが、PBLチュートリアルなどのアクティブ・ラーニングにおける活用はその一つでしょう。近年、講義主体の知識伝達型教育に対する反省のもと、学修者が能動的に学ぶ教育方法として普及が進んでいます。多くはグループ・ワーク形式をとりますが、事前学習あるいはグループ・ワーク中に学生が直接視聴覚メディアにアクセスし、効果的に情報を収集することはアクティブ・ラーニングの効果を高める助けになります。

しかし、専門的な臨床能力を身につけるには、対象者に直接関わる臨床実習が欠かせないのも事実です。他の医療専門職同様、作業療法士の世界組織 World Federation of Occupational Therapists (WFOT) の教育基準、あるいは日本の文部科学省令・厚生労働省令で定める学校養成施設指定規則においても、比較的多くの割合を臨床実習に割くよう指定されています。この臨床実習は専門知識に加えて高度なコミュニケーション能力が求められるため、有効な学習経験となるためには学生側のレディネスが前提となります。これに応えるには講義主体の授業では難しく、ここで期待されるのも臨床場面の視覚的な理解やシミュレーションのための視聴覚メディア教材です。

自身の例としては、チーム基盤型学習 team-based learning (TBL) を参考にした事例(症例)学習を行っており、事前学習やグループワーク時の情報収集に図書館やコンピュータ実習室、情報センターにある各種の視聴覚メディアやインターネット上にあるデータベースを利用しています。活用というにはまだ不十分なものですが、講義による一方的な知識伝達では得られない手応えを感じています。また、学科教員が総出となるOSCE後のフィードバックセミナーでは、本人のビデオ映像を、自らの動作や表情、言葉遣いを客観的に把握するツールとして活用しています。

視聴覚メディア教材はまだ発展途上です。インタラクティブなマルチメディア教材や3Dを用いたバーチャルリアリティ教材の開発もさらに進むでしょう。こうしたICTの発展を踏まえて、いかに有効な学習環境を構築するかという点で附属総合情報センターの重要性は高まっています。学生の皆さんには、まずは今ある附属総合情報センターの機能を存分に活用して頂きたいと思います。

# 今春、卒業・課程修了、退職予定の皆さまへ

## 1. 図書館 ID カード更新手続きについて

今春、卒業及び課程修了、退職される皆さまにつきましては、図書館の利用が下記のとおりとなります。引き続き図書館を利用される場合は、変更手続きをお願いいたします。

区分	4月以降	現IDカードの有効期限	変更手続き	IDカード受け渡し
医学部学生	本学研修医	4月1日(月)	不要	臨床研修センター
	学外研修医	3月15日(金)	利用申請書提出 (学外利用者用申請書)	図書館(卒業生カード)
保健医療 学部学生	附属病院勤務 (看護部)	4月1日(月)	不要	看護部
	附属病院勤務 (看護部以外)		利用申請書提出 (学内者用申請書)	図書館(4月1日以降お渡し)
	学外勤務	3月15日(金)	利用申請書提出 (学外利用者用申請書)	図書館(卒業生カード)
課程修了者	大学院、研究生	4月1日(月)	不要	所属講座、教室
	上記以外の 学内勤務	4月1日(月)	利用申請書提出 (学内者用申請書)	図書館(4月1日以降お渡し)
	学外勤務	4月1日(月)	利用申請書提出 (学外利用者用申請書)	図書館(卒業生カード・学外者カード)
教職員	学外勤務	4月1日(月)	利用申請書提出 (学外利用者用申請書)	図書館(元教職員カード・学外者カード)

注1：学生証(IDカード)は、学務課へ返却下さい。

注2：「学外研修医、学外勤務」となる方のIDカード発行は、道内在住及び道内勤務者に限る。

注3：課程修了者は、大学院生、研究生、聴講生

※利用申請書提出の開始日は、3月1日(金)です。

## 2. 提供サービスについて

4月以降、学内所属員から外れる方については、下表のとおりになります。

※の項目については、必ず手続きを行ってください。

区分	変更内容	備考
メールアカウント	変更なし	本人の申し出以外、継続利用
リモートアクセス	利用不可	契約上の制約による
※メーリングリスト	管理者の場合は、変更する	ホームページから申請(注1)
※(重要) マイクロソフトオフィス	アンインストール必須	アンインストール作業を実施の上、申請書を提出(注2)

注1：メーリングリストの管理者変更

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/contact/form5/>

注2：マイクロソフトオフィスのアンインストール申請書

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/uploads/uninstallform.doc>

## 平成31年度 国外学術雑誌整備結果について

国外学術雑誌の購入については毎年度、購読希望調査を行い、調査結果を元に当センター運営委員会で検討が行われています。平成31年度につきましては、下記のとおり購読を中止します。詳細は情報センターHPにて学内限定で掲載を予定しておりますので、改めてご案内いたします。

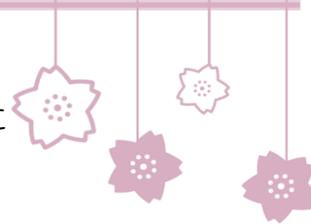


表1. 平成31年度 契約中止雑誌（×印が平成31年より中止、最新年が閲覧不可となります）

誌名	出版社	形態	
		冊子体	電子
Advances in nursing science	Journal of Family Practice	-	×
American journal of occupational therapy	Am Occup Therapy Assoc	×	閲覧可
Brain & development	Canad Med Assoc	-	×
British journal of general practice	Royal College General Practitioners	×	×
Cancer gene therapy	Wiley-Blackwell	-	×
CMAJ : Canadian Medical Association journal	Cambridge Univ Press	×	×
Epidemiology and infection	Royal College General Practitioners	-	×
European Journal of Gastroenterology and Hepatology	Lippincott	-	×
Geriatric medicine	Modern Medicine Publications	×	×
Journal of family practice	Lippincott	×	×
Journal of pediatric hematology/oncology	Lippincott	-	×
Liver international : official journal of the International Association for the Study of the Liver	Nature Pub Group	-	×
Pancreas	Lippincott	-	×

表2. 平成31年度 整備誌数（予定）

区分	平成30年度		平成31年度				差異	
	購読誌数	提供誌数	新規購読	購読中止	購読誌数	提供誌数	購読誌数	提供誌数
冊子体								
情報センター	41	-	0	2	39	-	-2	-
講座	33	-	1	3	31	-	-2	-
合計	74	-	1	5	70	-	-4	-
電子ジャーナル								
情報センター	193	6,556	0	2	191	7,062	-2	506
講座	58		0	9	49		-9	
合計	251	6,556	0	11	240	7,062	-11	506

註. 電子ジャーナル提供誌数は、コンソーシアム参加による提供数を含む総誌数で ProQuest 提供誌を含む。（重複誌も含む）



### 「Elsevier PPV利用説明会」 開催のお知らせ

2月配信のメールマガジン（第3号）にてお伝えした「Elsevier（エルゼビア）社 PPV」利用のポイントについて、ご紹介できなかったより詳しい内容を説明会でお伝えします。日頃利用する中で疑問をお持ちの方はもちろん、これから利用をお考えの方も役立つ内容をお届けします。

開催日時は、新年度以降を予定しております。詳細につきましては決定次第、情報センターHP・メールマガジン等でお知らせします。ぜひご参加ください。



### 卒業生より図書を 寄贈いただきました

平成30年度卒業生（第66期）より、図書を寄贈いただきました。図書館2階に展示いたしましたので、お手にとってご覧ください。

なお、新着図書を調べたいときはHP右側「学内蔵書検索：Web OPAC」から「新着図書」のアイコンをクリックすると30日以内に受入れた図書が一覧で表示されます。

## 情報センターセキュリティ便り

昨今、メール等のコミュニケーションツールを使った脅迫・詐欺的な手口による金銭要求が増えています。例えば、皆様は、自分のメールアドレスから発信されたように見える次のような件名のメールを受け取った事はないでしょうか？



「あなたのパスワードは侵害されました。」  
「沈黙のためにあなたからの支払いを期待しています。」  
「あなたの心の安らぎの問題」...etc

これらは皆様が不安を抱くような内容を本文内に記載し、金銭を詐取する事を目的としています。特に多いパターンとして以下のような文章があります。

「私はあなたのアカウントをハッキングし、そこからメールを送りました。  
私はあなたのデバイスに完全にアクセス出来ます。」  
「あなたのデバイスからプライベートな情報を抜き取りました。  
金銭を支払わない場合、これらを家族や同僚に公開します。」



このようなメールを受け取った際、「自分のメールアドレスから発信されたメールだから本当にハッキングされてしまったんだ！」と不安になるかも知れません。

ですが、多くの場合はそのようなことはありません。これらのメールの多くは犯罪者が詐称メールを用いて発信したものであり、皆様のアカウント自体はハッキングされていません。

では、このようなメールを受け取った際は、どのように対応すれば良いのでしょうか？  
独立行政法人情報処理推進機構では、次のような対応を推奨しています。

- 受信したメールは無視する。
- メールパスワードを長く複雑で使いまわしていないものに変更する。

脅迫メール等を受信した際は、上記の対応を心掛けてください。

また、脅迫メールや不審メールを受信し不安がある場合には、情報センターにご相談ください。

### ■連絡先■

総務・システム係  
内 線: 22390、22490  
Email: icccj@sapmed.ac.jp

### ◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内 線	E-mail	照会先
図書館の利用に関する事	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関する事	24180	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関する事	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関する事	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関する事	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関する事	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関する事	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関する事	24180	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

パークス  
**Barks**

Sapporo Medical University  
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人  
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)